

富士フイルムグループが積み重ねてきた革新と創造

写真フィルムの国産化を目指し1934年に設立されて以来、変化する時代の先を読み、幅広い技術を蓄積・進化させ、イノベーションを起こすことで画期的な製品・サービスを提供してきました。これからも社会へ新しい価値を届け、成長し続けます。

1934年

売上高	546,804円
従業員数	340人

1964年

売上高	340億円
従業員数	6,818人

1994年

売上高	1兆667億円
従業員数	26,555人

2014年

売上高	2兆4,400億円
従業員数	78,595人

写真フィルム国産化／国内販売網確立

- 総合写真感光材料メーカーとしての地位を築く
- レンズ、光学機器に進出
- 医療分野、印刷分野、電子写真、磁気材料など事業を多角化

事業の拡大・グローバル化

- 海外現地法人の設置などグローバル開拓を開始
- 英国ランク・ゼロックス社との合併により富士ゼロックス(株)を創立
- 世界に先駆けたカラーネガフィルムの研究開発と製品化に注力

デジタル化の進展

- 「世界のFujifilm」を目指して、海外生産拠点を増やすなどグローバル化を加速
- 写真、医療、印刷事業におけるデジタル化にいち早く取り組む
- FCRやデジタルカメラなど、世界初製品を数多く世に送り出す

第二の創業期

- 急速なデジタル化の進展をとらえ、事業構造を変革
- 富士ゼロックス(株)を連結子会社化
- 富士フイルムホールディングス(株)として、持株会社体制に移行
- 医薬品事業などヘルスケア分野を拡大

1934年～1950年代

- 1934年 映画用フィルム
印刷用フィルム
- 1936年 写真フィルム
X線フィルム
- 1948年 カメラ
- 1954年 工業用X線フィルム
- 1958年 TACフィルム
- 1959年 放送用ビデオテープ

1960年～1970年代

- 1962年 **国内初** 複写機
- 1965年 PS版
コンピューター用テープ
ホームムービー「シングル-8」システム
- 1969年 ろ過用フィルター
- 1971年 ホームビデオテープ
- 1975年 カラー複写機
- 1976年 **世界初** 高感度一般用カラーネガフィルム「フジカラーFII 400」

1980年～1990年代

- 1983年 **世界初** デジタルX線画像診断装置「FCR」
- 1986年 **世界初** レンズ付きフィルム「写ルンです」
- 1988年 **世界初** デジタルスチルカメラ
- 1993年 **世界初** 高速電子印刷・出版システム
- 1996年 **世界初** デジタルミニラボ
世界初 WVフィルム
- CTP版
- 1999年 医用画像情報システム

2000年～

- 2003年 **世界初** ダブルバルーン内視鏡
- 2004年 **世界初** フルデジタル電子内視鏡
- 2006年 機能性化粧品
- 2009年 **世界初** 3Dデジタルカメラ
- 2011年 **世界初** 自動X線検出機能搭載・DR方式カセット型デジタルX線画像診断装置
- 2012年 レーザー光源搭載内視鏡システム

